

特別区制度（いわゆる「大阪都構想」）の意義・効果に関する広報資料 （概要版）

特別区制度（いわゆる「大阪都構想」）の意義・効果について住民周知を行うためのコンテンツ集として、「大阪府市のサービスの最適化【二重行政の解消編】」、「大阪の成長、安全・安心【広域機能の一元化編】」、「住民サービスの充実・地域の発展【身近な基礎自治の充実編】」を作成中。

1. 大阪府市のサービスの最適化【二重行政の解消編】

- ①過去・現在、大阪都構想実現後の分析
- ②現在の府市の二重行政解消の実績
 - ・経営形態の見直しによるサービス向上（大阪メトロの設立等）
 - ・機関統合による機能強化（大阪健康安全基盤研究所の設立等）
 - ・二重行政解消による財政効果の発現と新たな投資
- ③大阪都構想により二重行政を制度的に解消

2. 大阪の成長、安全・安心【広域機能の一元化編】

- ①過去・現在、大阪都構想実現後の分析
- ②現在の成長に関する取組み実績
 - ・経済の好転、財政の改善
 - ・一体性、スピード感を持った成長の取組み（淀川左岸線延伸等）
 - ・大阪の顔となる府市一体のまちづくりの推進（うめきた2期）
 - ・府市一体で推進する成長戦略の取組み（大阪・関西万博）
 - ・大阪全体の安全安心の確保（防潮堤耐震化・液状化対策）
 - ・府市が連携して取り組む危機管理（新型コロナウイルス感染症対策）等
- ③大阪都構想により更なる意思決定のスピードアップ、司令塔機能の確立